



大阪府女性の妊娠・不妊に関する意識調査

『ルナルナ』を運営する（株）エムティーアイと大阪府は、妊娠・出産・不妊の支援に係る連携・協力に関する事業連携協定を締結しています。

エムティーアイ

調査概要

● 調査の目的

- ・ 大阪府在住の女性の妊娠・不妊に対する意識を把握し、今後の自治体での施策検討や『ルナルナ』のサービス向上に活用する。
- ・ ルナルナと大阪府とのコラボレーション企画に活用する。

● 調査実施時期

平成29年9月6日(水)～平成29年9月18日(月)

● 調査対象

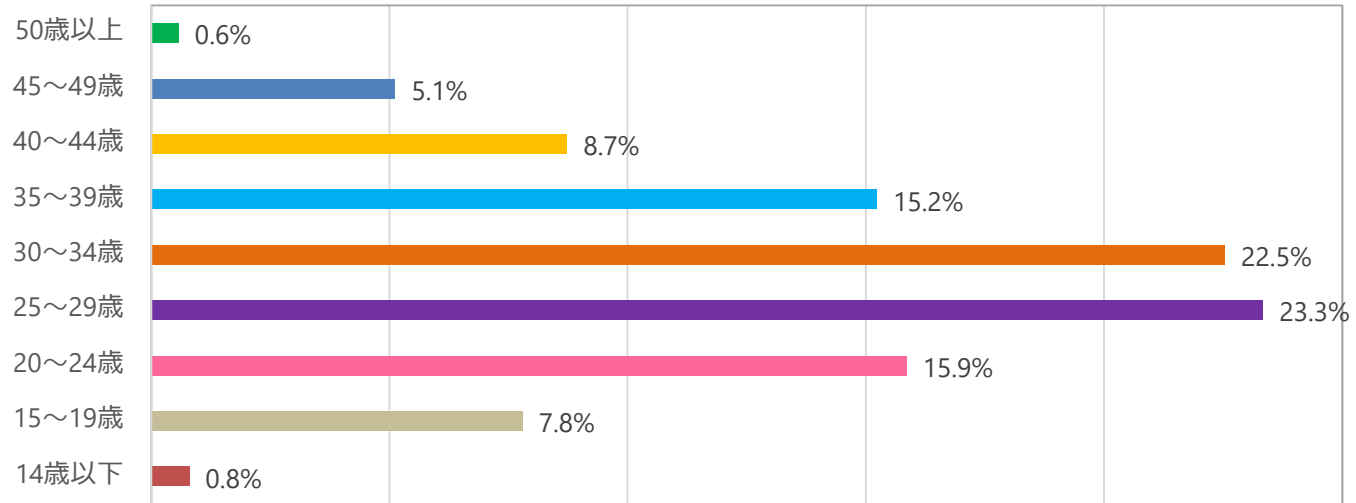
全国の10代～50代以上の女性：33,280名、そのうち大阪府在住の女性：2,245名

● 調査方法

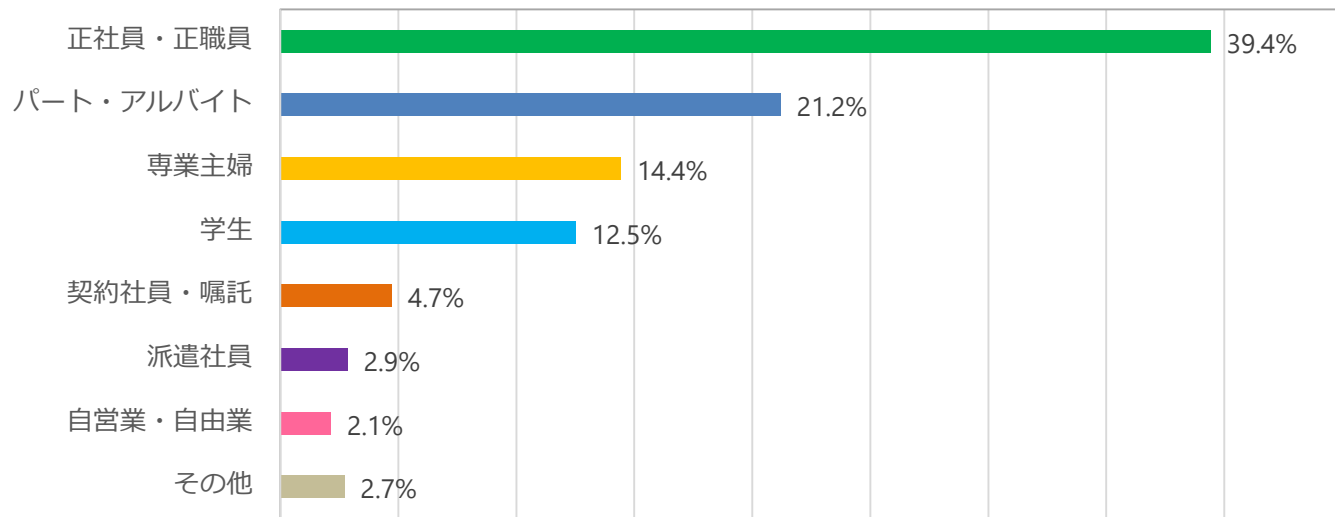
株式会社エムティーアイが運営する女性の健康情報サービス「ルナルナ」及び「ルナルナ 体温ノート」内にてアンケート調査を実施

Q1: あなたの年齢と職業を教えてください。

【年齢】



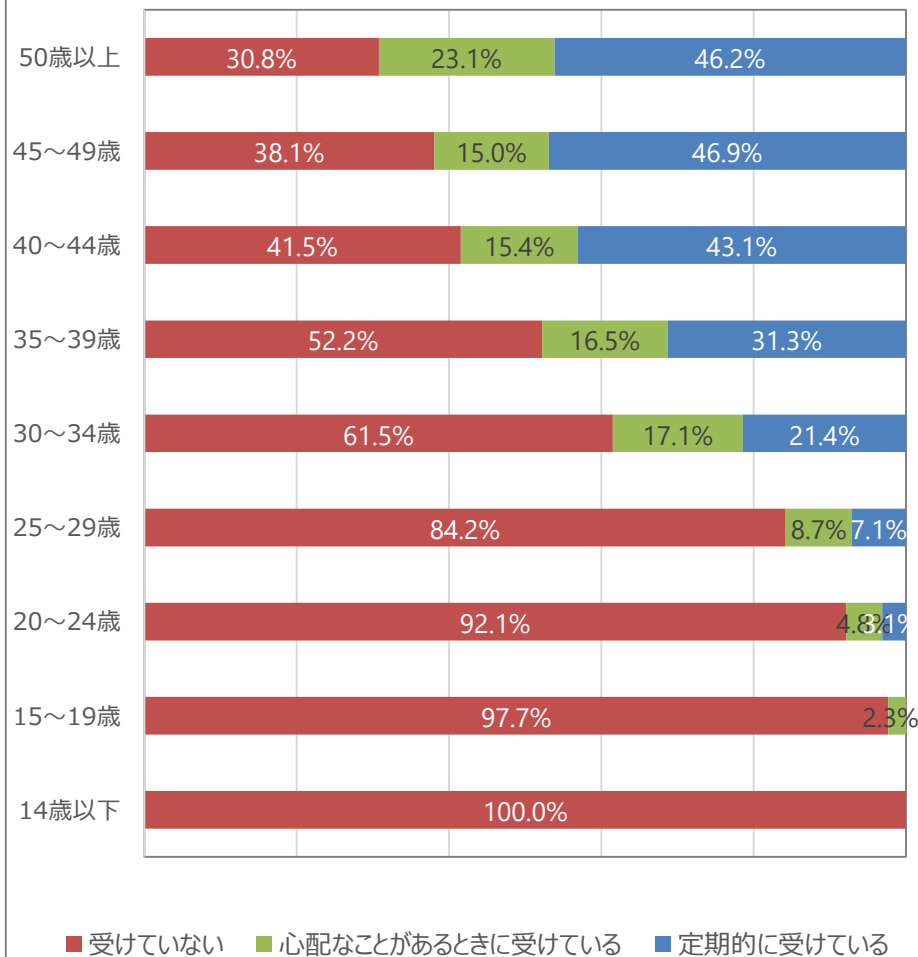
【職業】



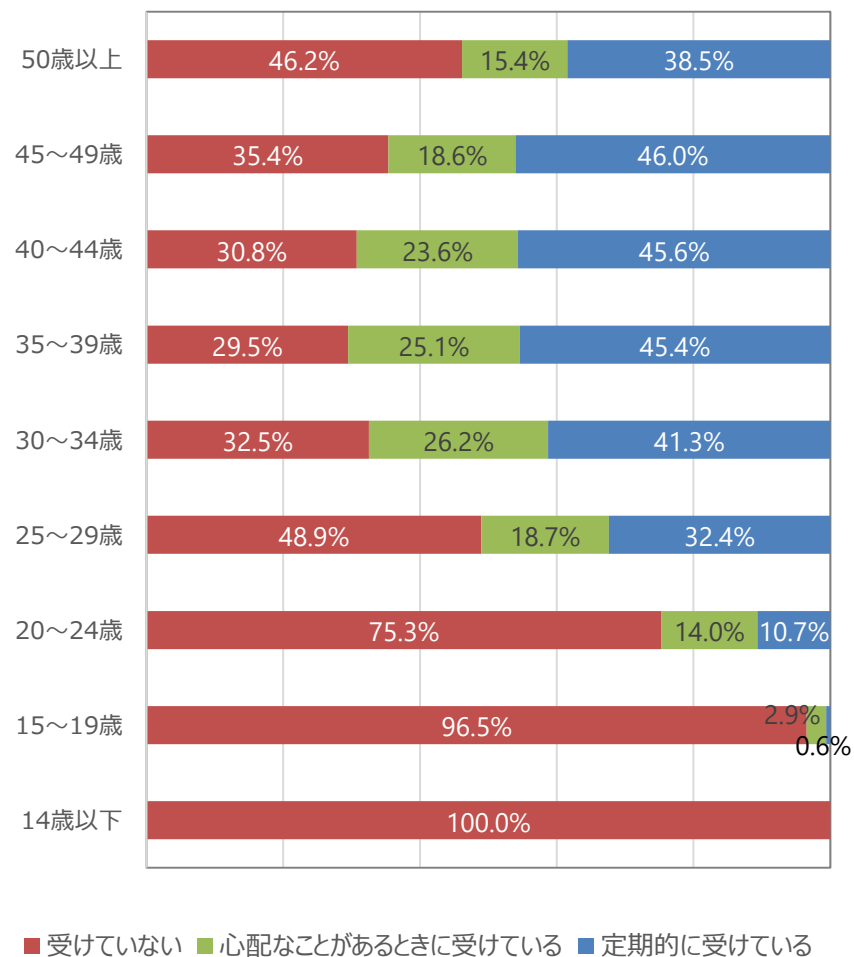
n=2,245

Q2: あなたが普段受けている婦人科検診を教えてください。

年齢別 乳がん検診の受診状況

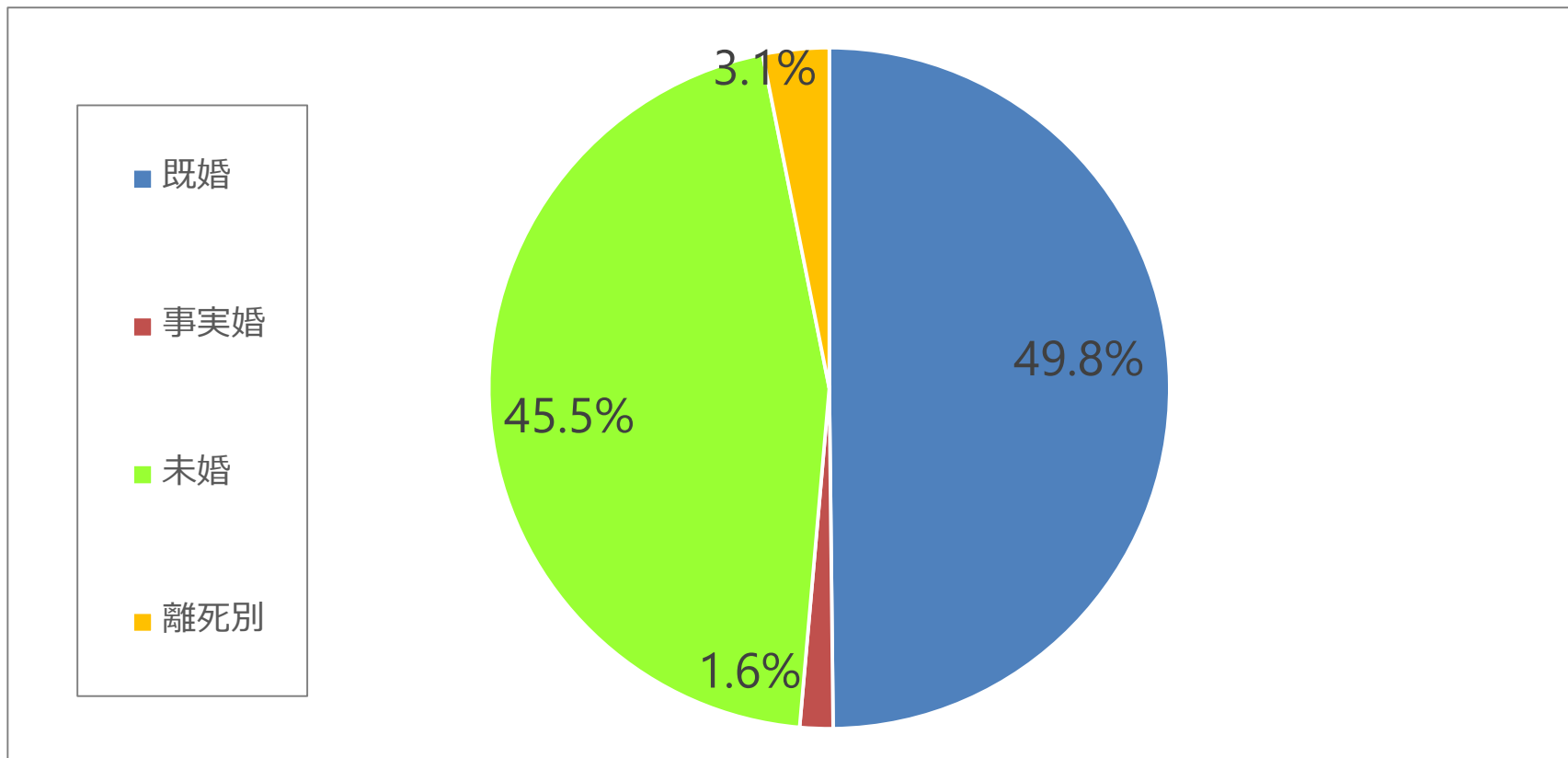


年齢別 子宮頸がん検診の受診状況



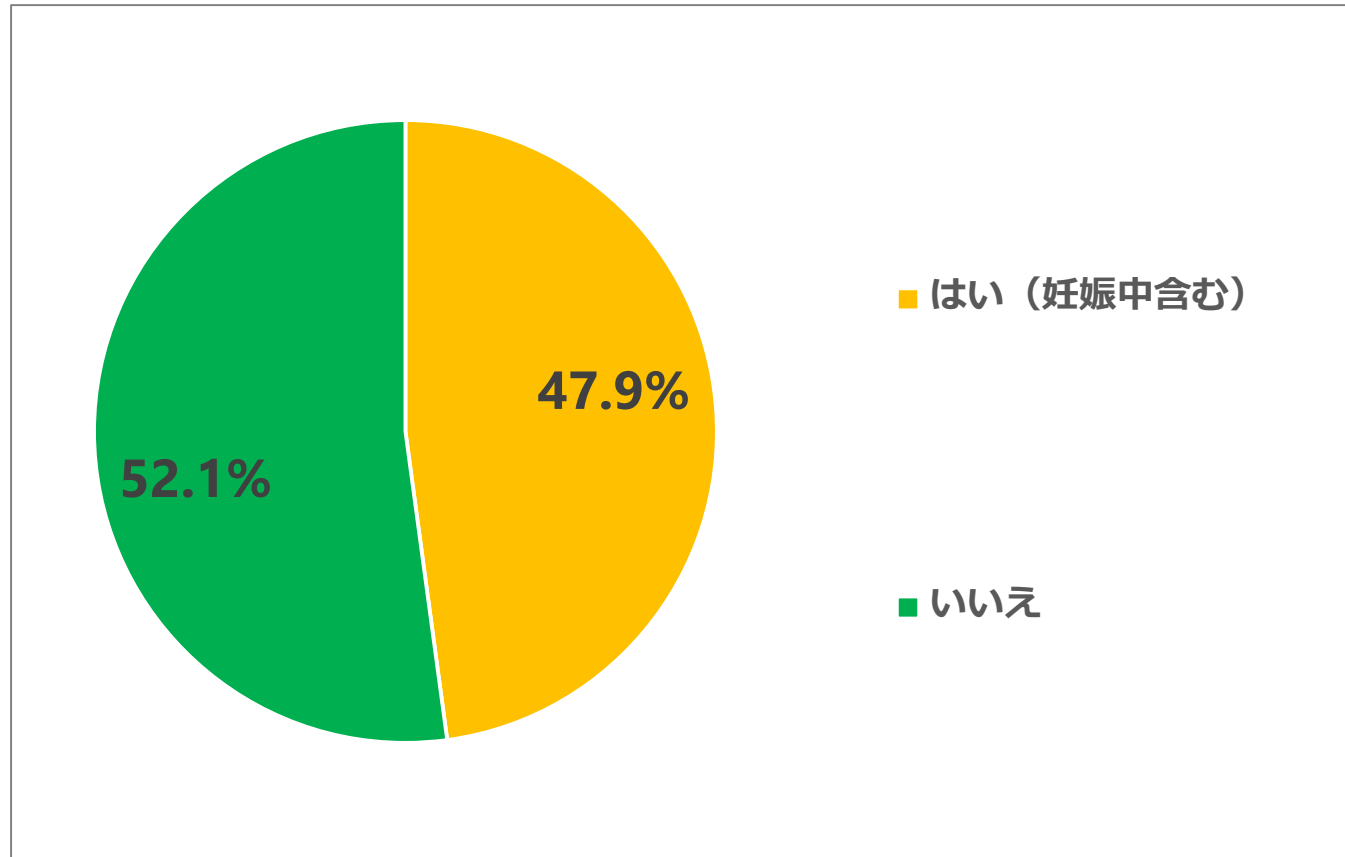
n=2,229

Q3: あなたの婚姻状況について教えてください。



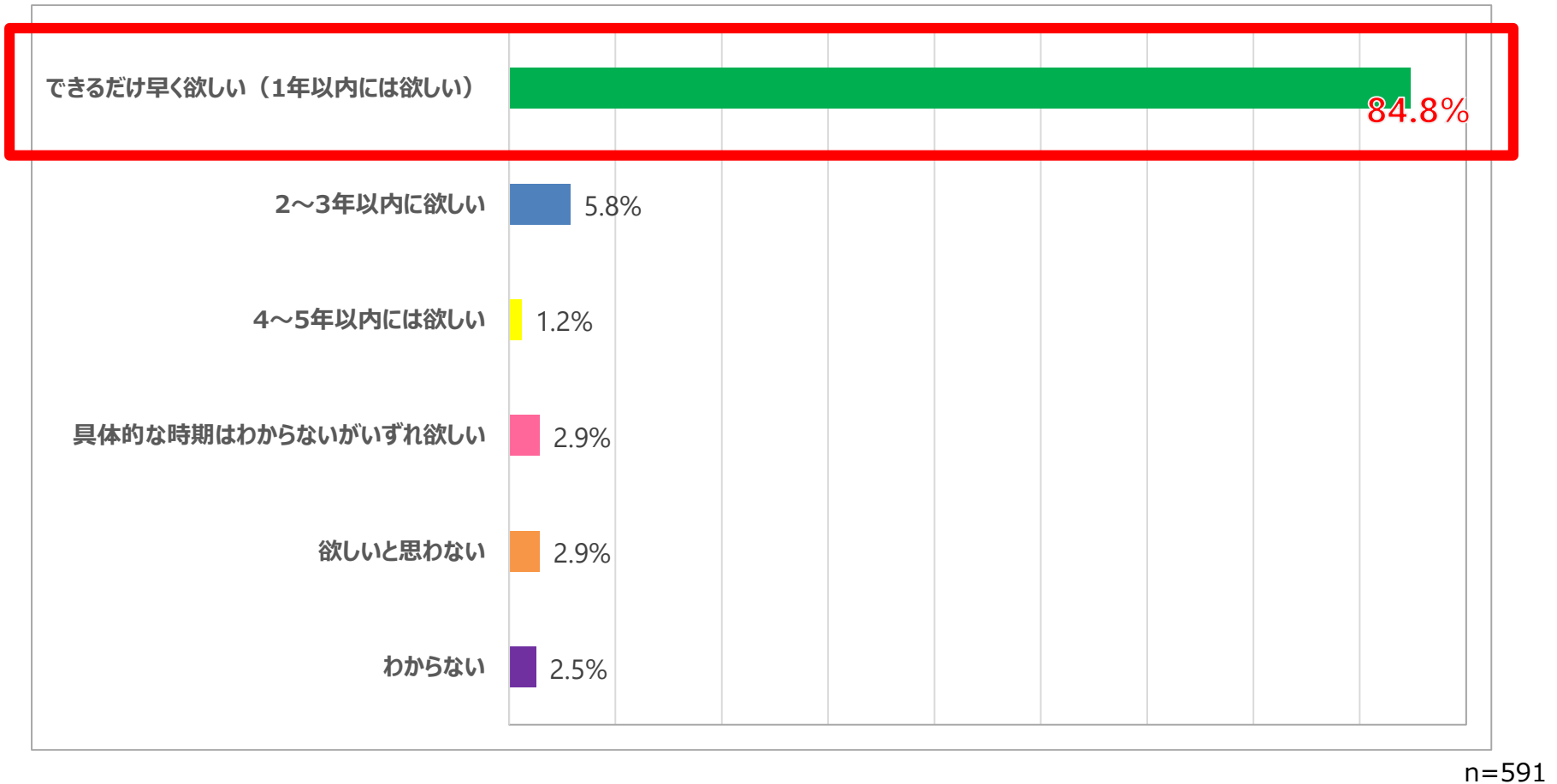
n=2,228

Q4: (既婚・事実婚の方へ) あなたにはお子さまがいますか。



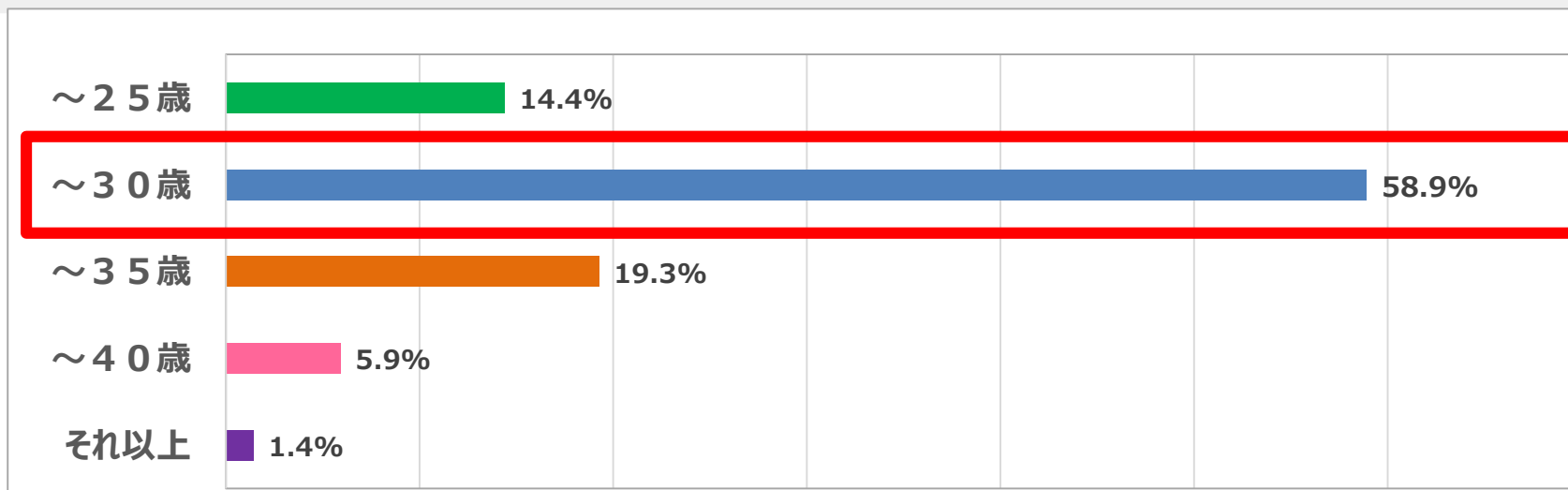
n=1,143

Q5: 将来子どもが欲しいと思いますか。

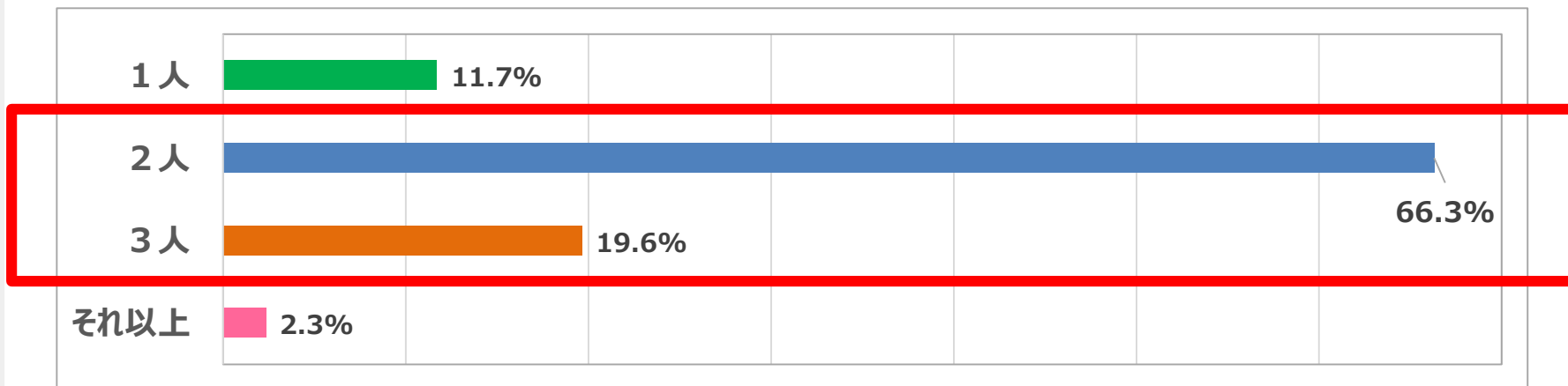


既婚・事実婚で子どもがいない場合**8割以上**が「1年以内に子どもがほしい」と回答。
時期を定めなければ**94.6%**が子どもを望んでいるという結果に。

Q6:現在の年齢にかかわらず、理想の第1子出産年齢を教えてください。

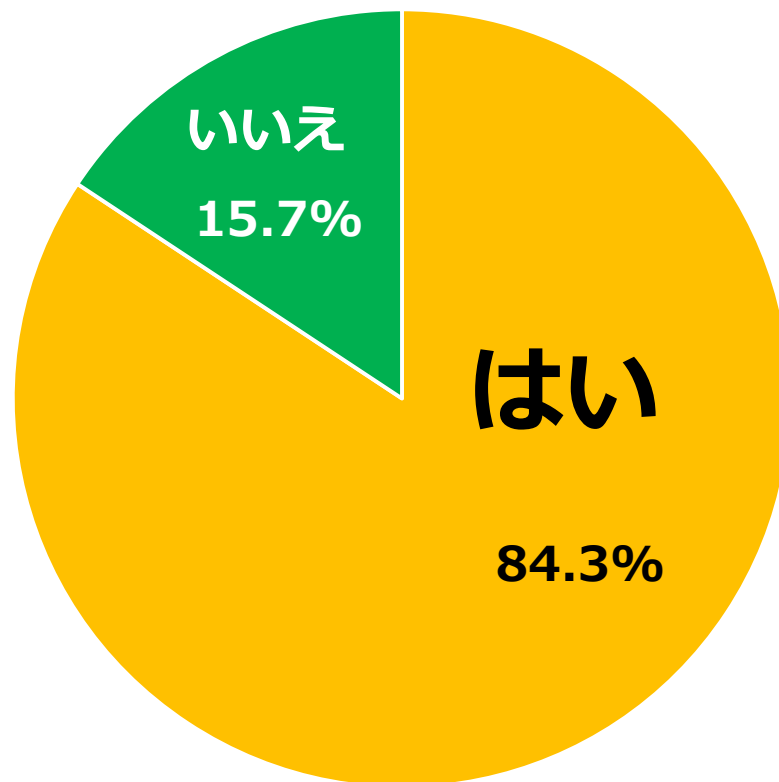


Q7: 子どもは何人欲しいと考えていますか。



既婚・事実婚で子どもを望む人のうち、**88.9%**が「子どもは2人以上欲しい」と考えている。 n=555

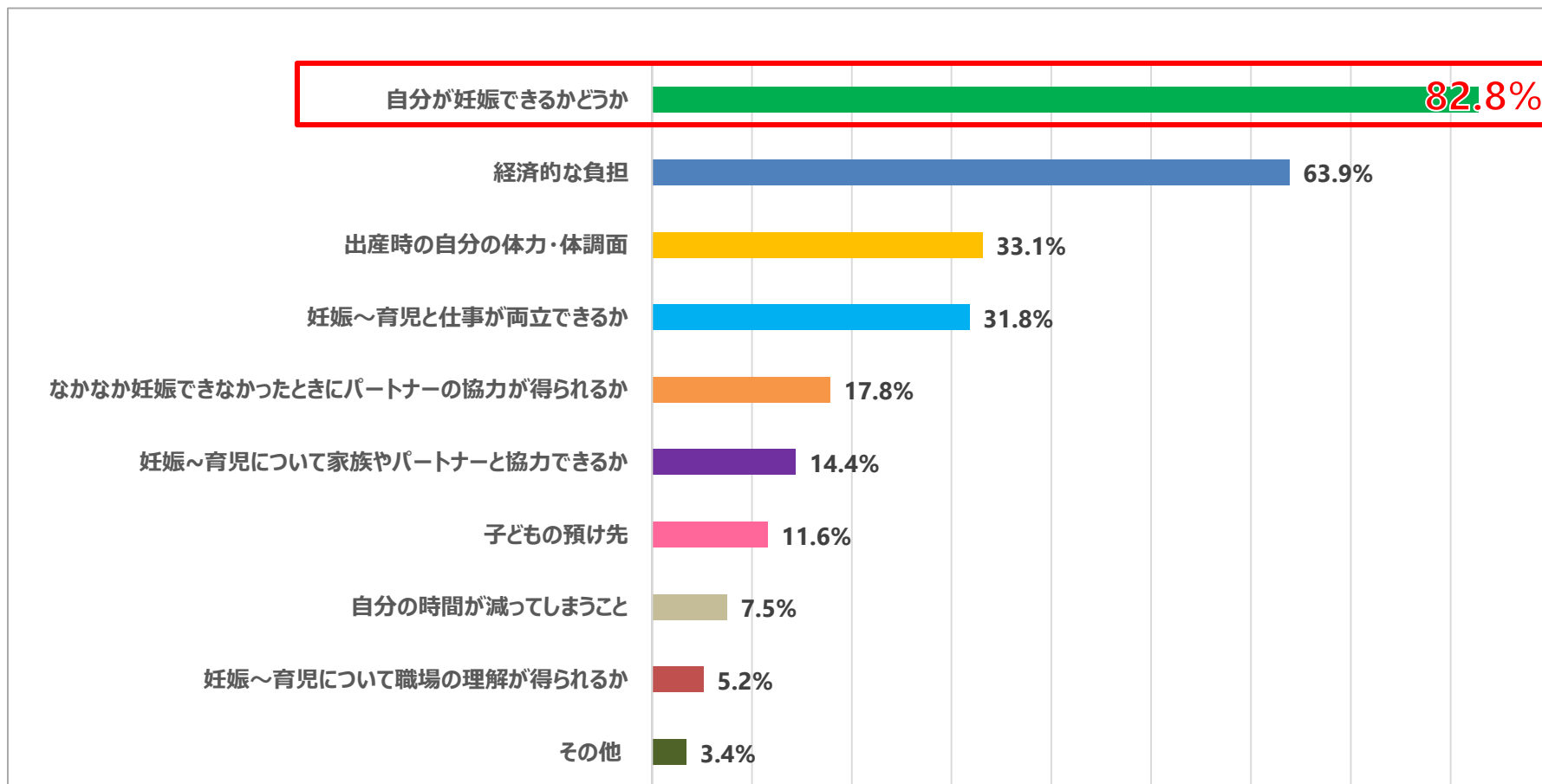
Q8: 今後子どもを持つことを想定した際、何か不安なことはありますか。



84.3%が「子どもを持つことに不安がある」と回答

n=554

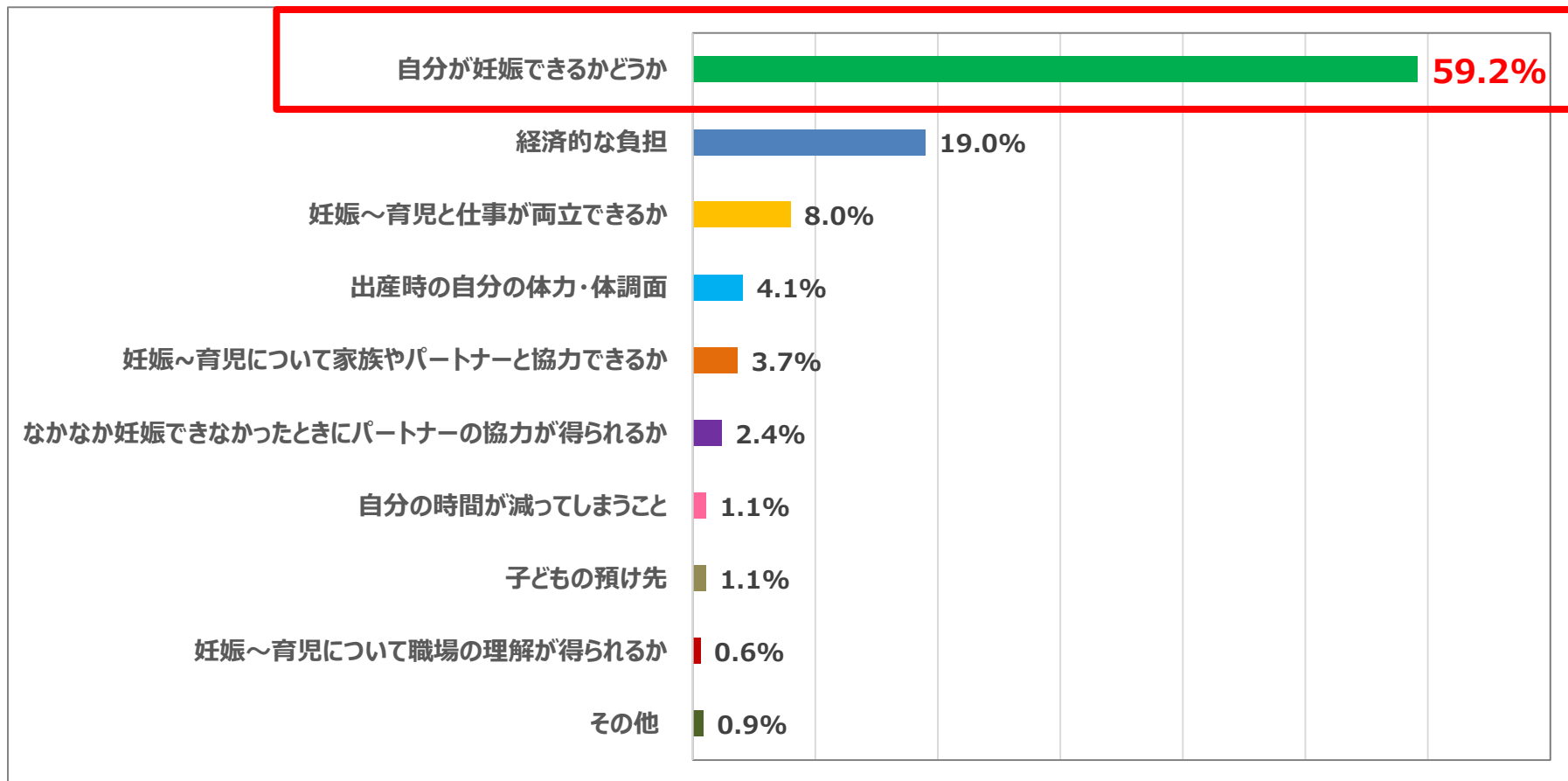
Q9: 今後子どもを持つことを想定した際、不安なことは何ですか。(複数回答)



子どもを持つことに「不安がある」と回答した人の不安の内容として
8割以上の女性が「自分が妊娠できるかどうか」を挙げている。

n=465

Q10: その中で最も不安に思うことは何ですか。

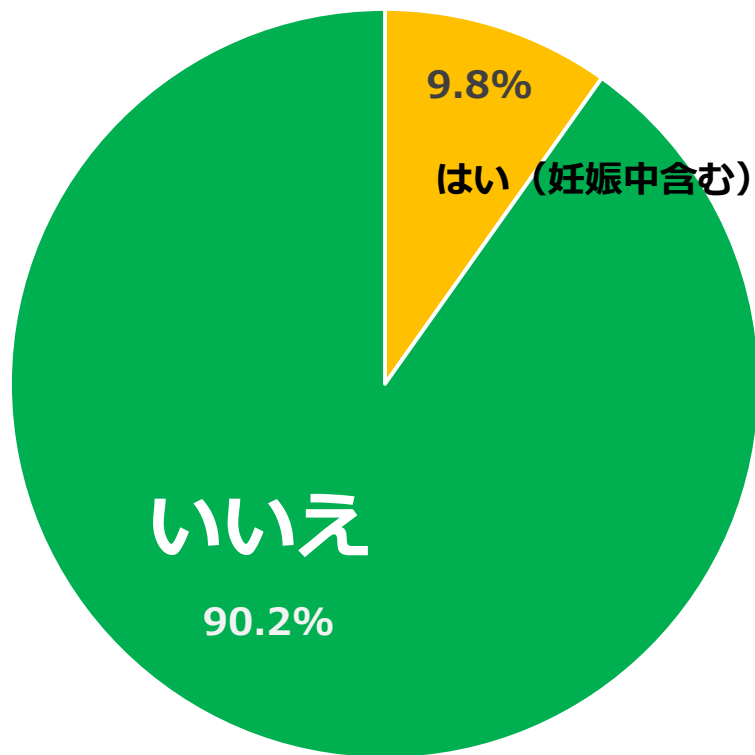


n=463

最も不安に思うことは「自分が妊娠できるかどうか」で59.2%。

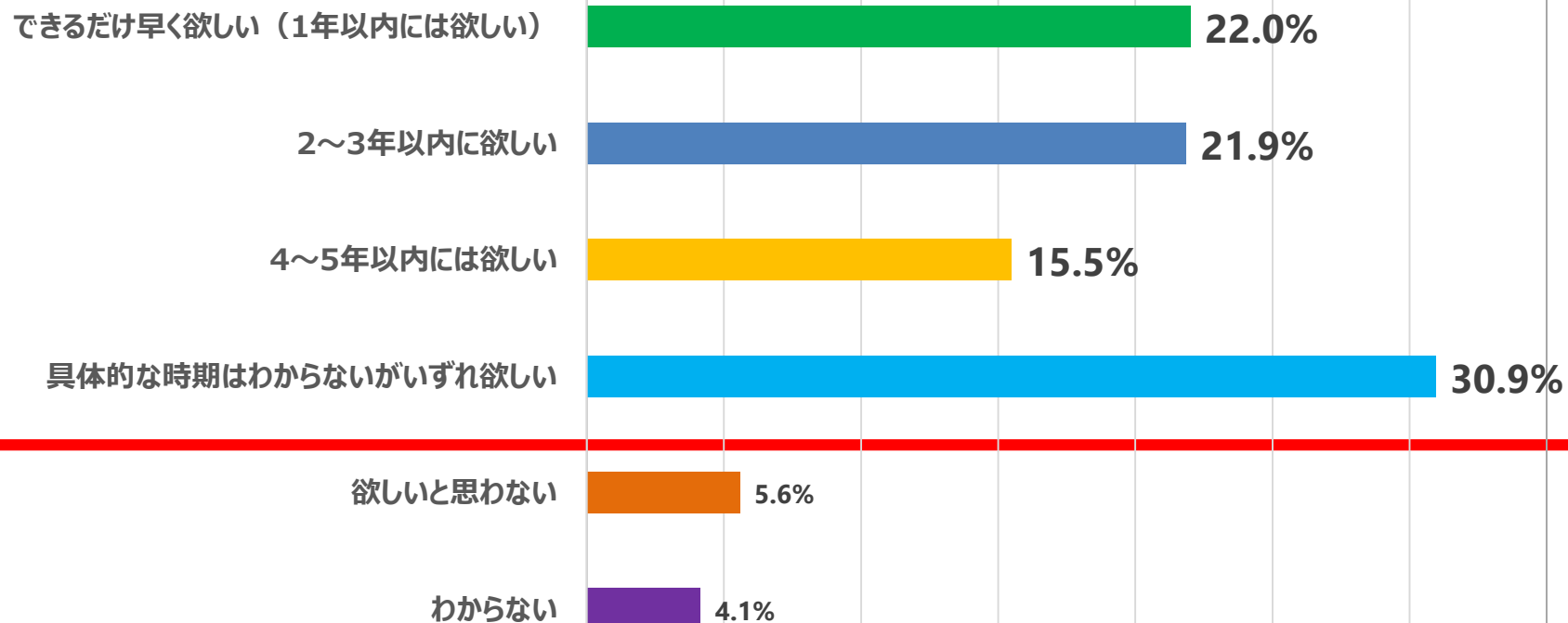
子どもを望む女性が多いものの、不妊に対する不安は根強いと読み取れる。

Q11: (未婚・離死別と回答された方へ) あなたにはお子さまがいますか



n=703

Q12: (未婚・離死別で子どもがいない方へ) 将来子どもが欲しいと思いますか。



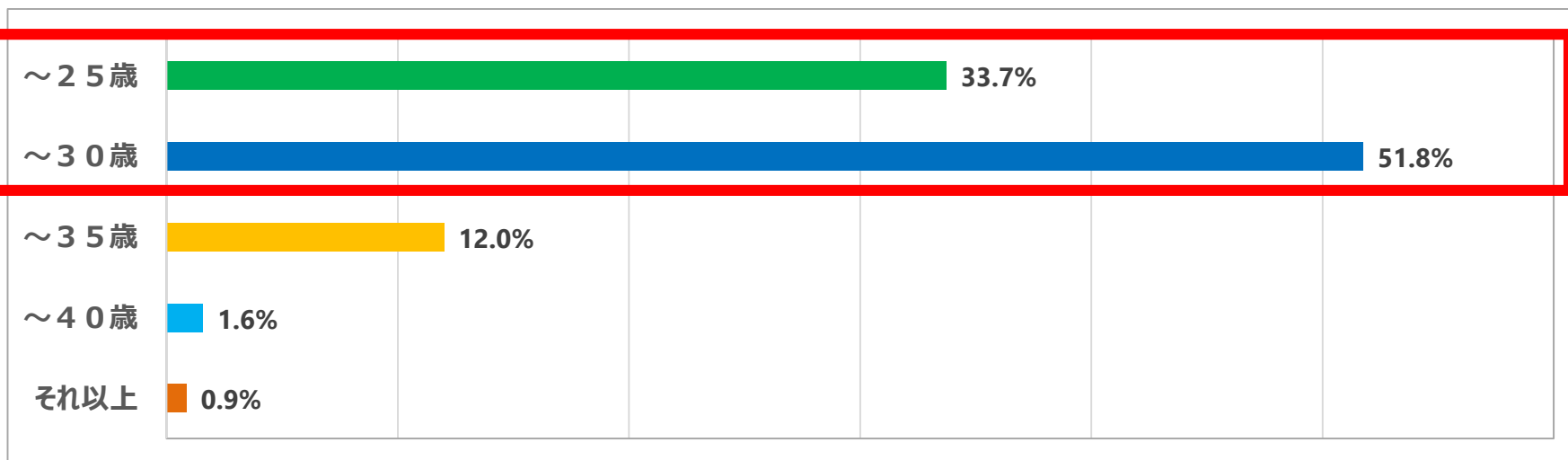
未婚・離死別で子どもがいない場合、90.3%が「子どもが欲しい」と回答。

n=627

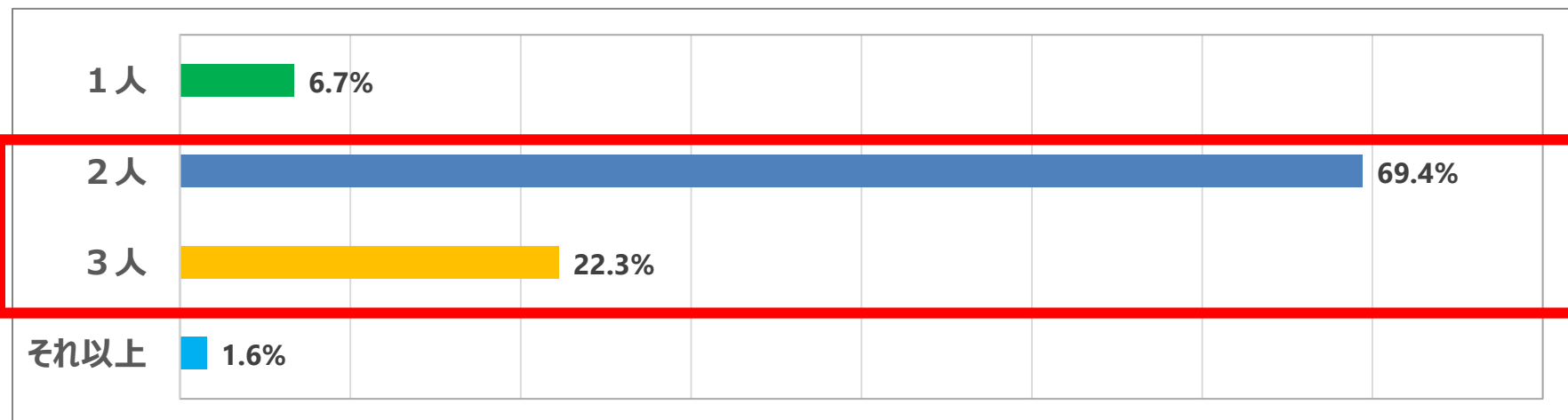
既婚・事実婚の方に比べ、「2~3年以内には欲しい」、「4~5年以内には欲しい」「いずれ欲しい」と回答した割合が高い。

Q13:(子どもが欲しいと回答した人へ)

現在の年齢にかかわらず、理想の第1子出産年齢を教えてください。

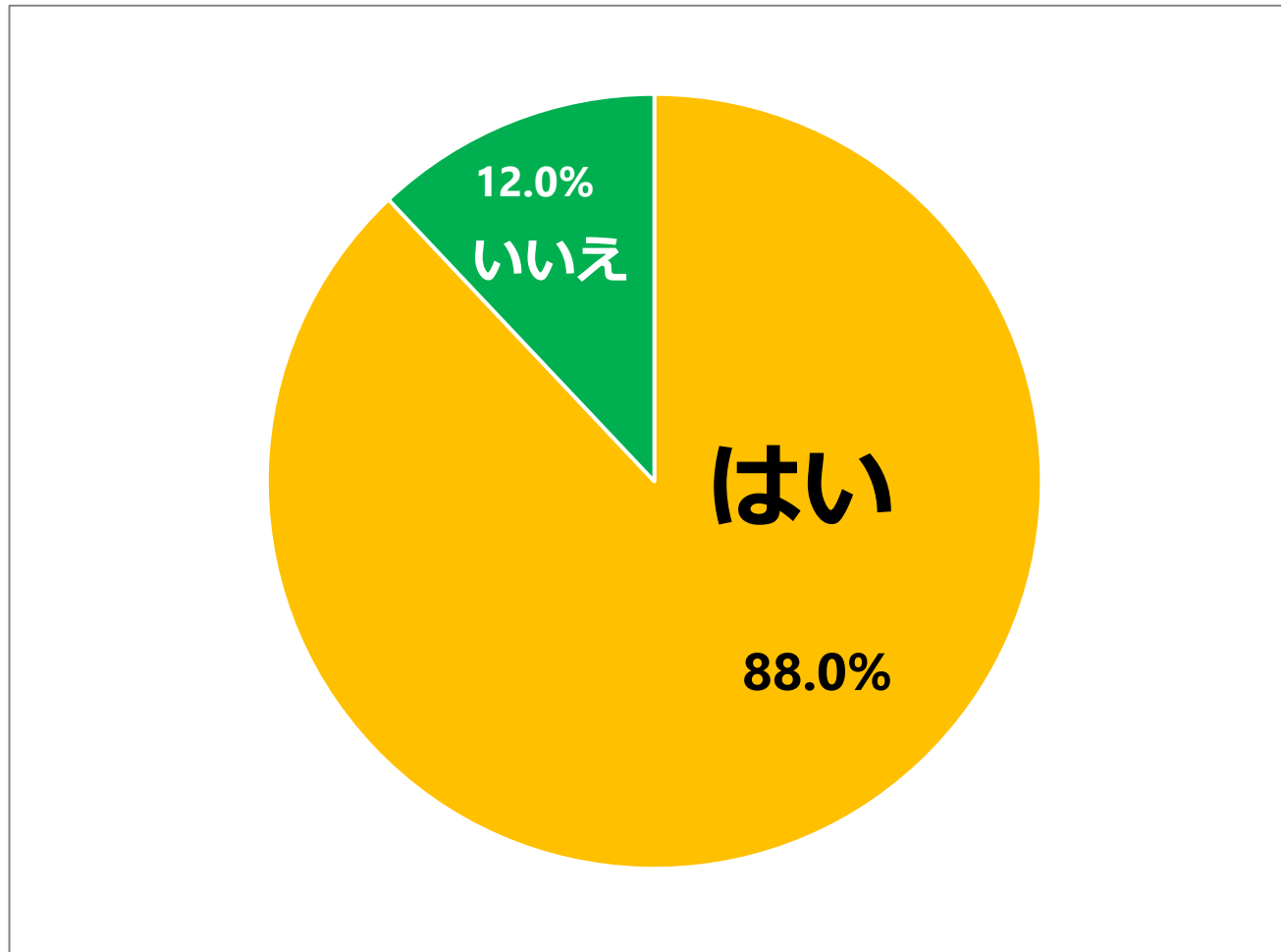


Q14: 子どもは何人欲しいと考えていますか。



n=566

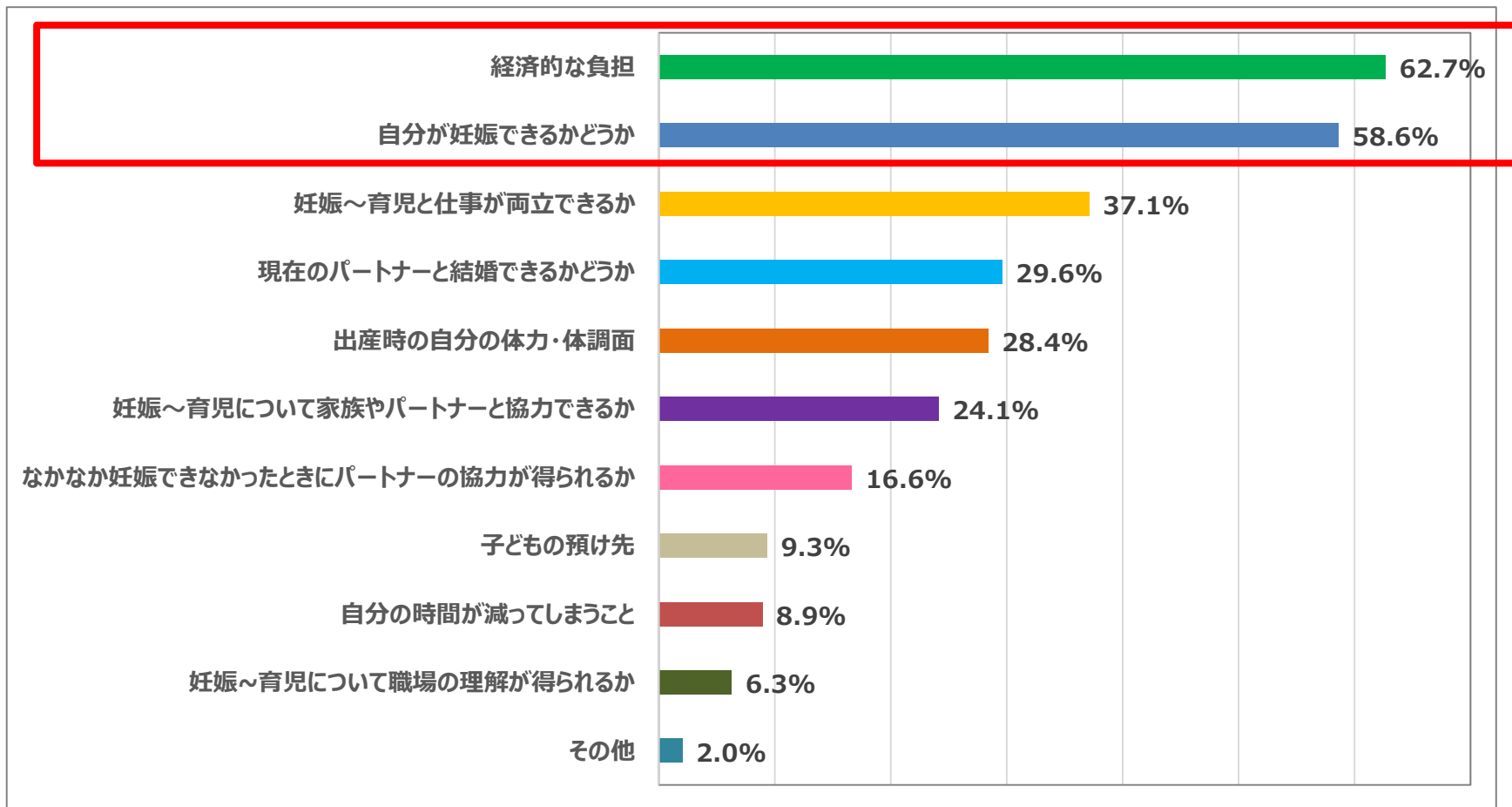
Q15:今後子どもを持つことを想定した際、何か不安なことはありますか。



n=556

88.0%が「子どもを持つことに不安がある」

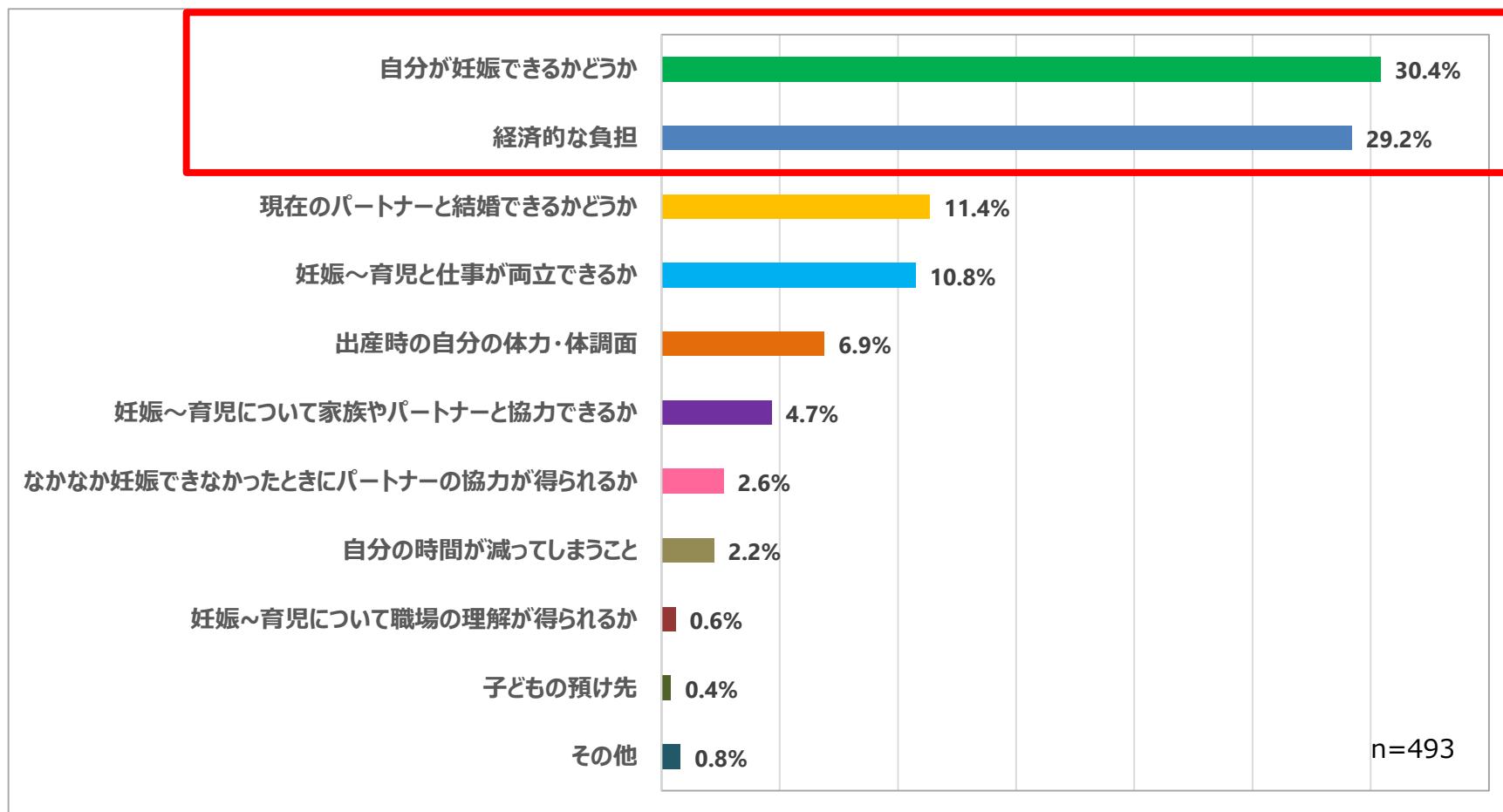
Q16: 子を持つことを想定した際、不安に思っていることは何ですか。(複数回答)



子どもを持つことに「不安がある」と回答した人の内、不安の内容として最も多かったのは「**経済的な負担**」で、僅差で「**自分が妊娠できるかどうか**」が2位となった。

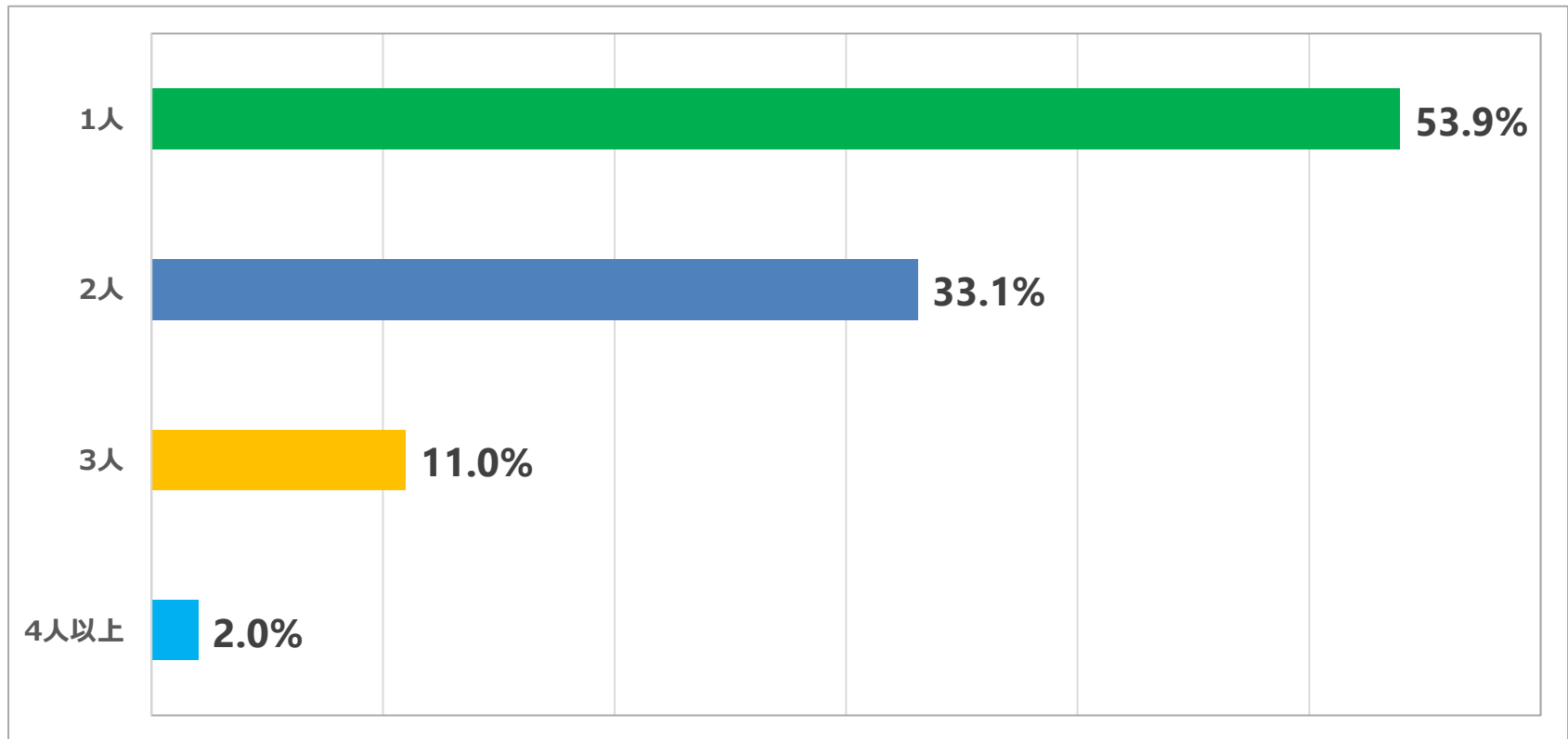
n=493

Q17: その中でも最も不安に思っていることは何ですか。



その中で最も不安なこととして挙げられたのは、「自分が妊娠できるかどうか」となり、僅かだが「経済的負担」を上回った。この2つが大阪府の女性にとってハードルとなっていると考えられる。

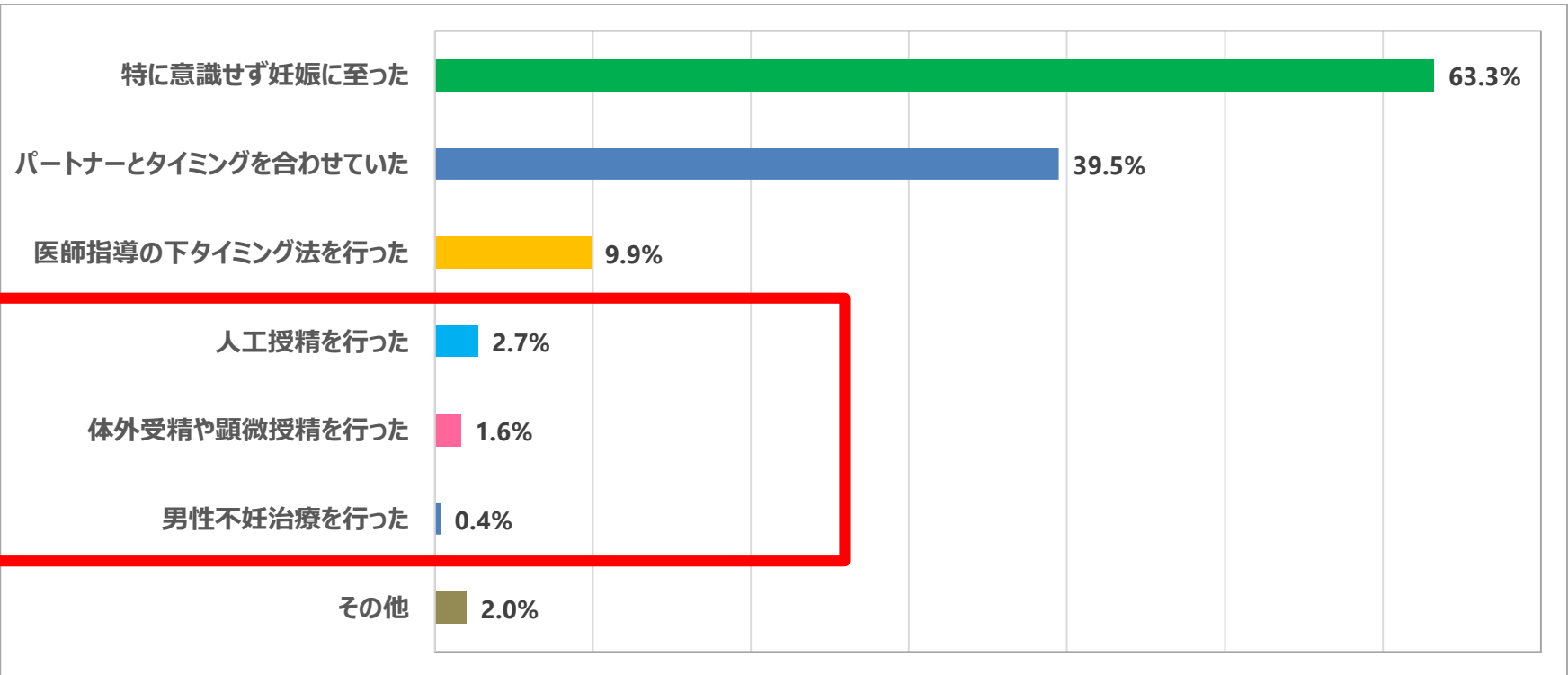
Q18: (子どもがいる方へ) お子さまは何人いらっしゃいますか



n=547

Q19: 妊娠に至るまでの経緯を教えてください。(複数回答)

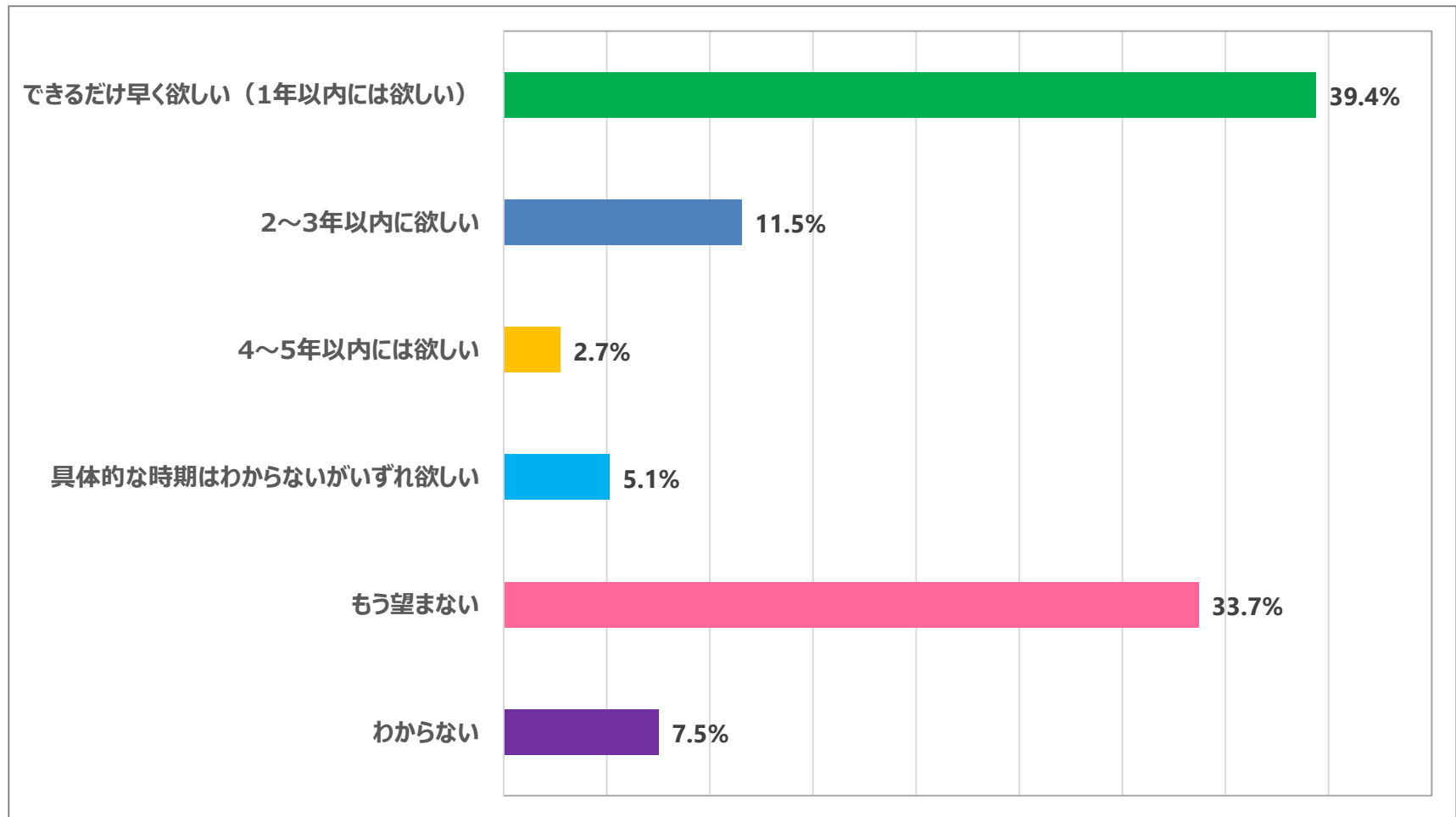
既婚・事実婚・未婚・離死別
(子ども有)



n=547

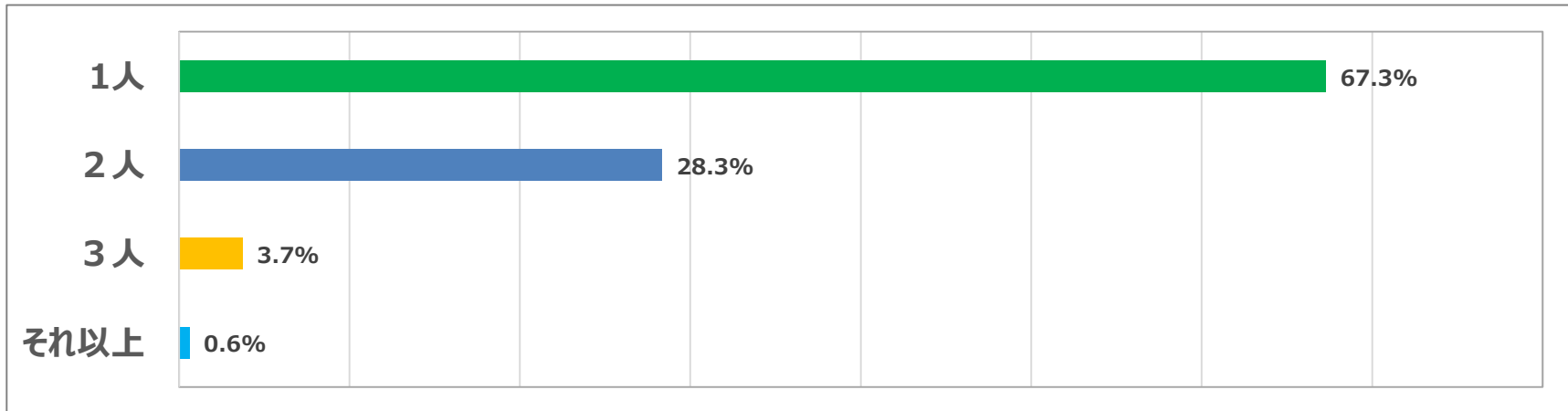
一般不妊治療(タイミング法・人工授精)、特定不妊治療(体外受精・顕微授精)を行ったという回答は数パーセントあったが、男性不妊治療を行った割合は0.4%。

Q20: 将来、また子どもが欲しいと思いますか。(2人目以降)



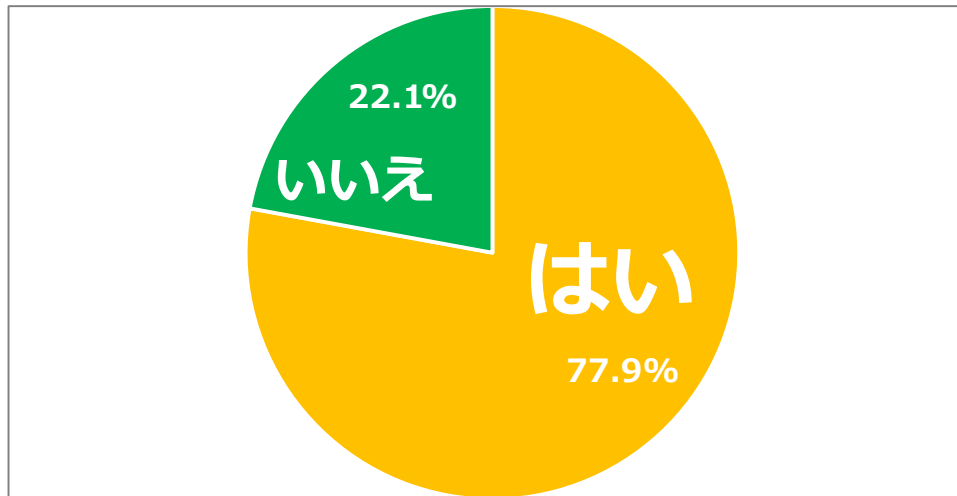
n=546

Q21: (前問で子どもを望むと回答した方へ) あと何人子どもが欲しいですか



n=321

Q22: 今後子どもを持つことを想定した際、何か不安なことはありますか。

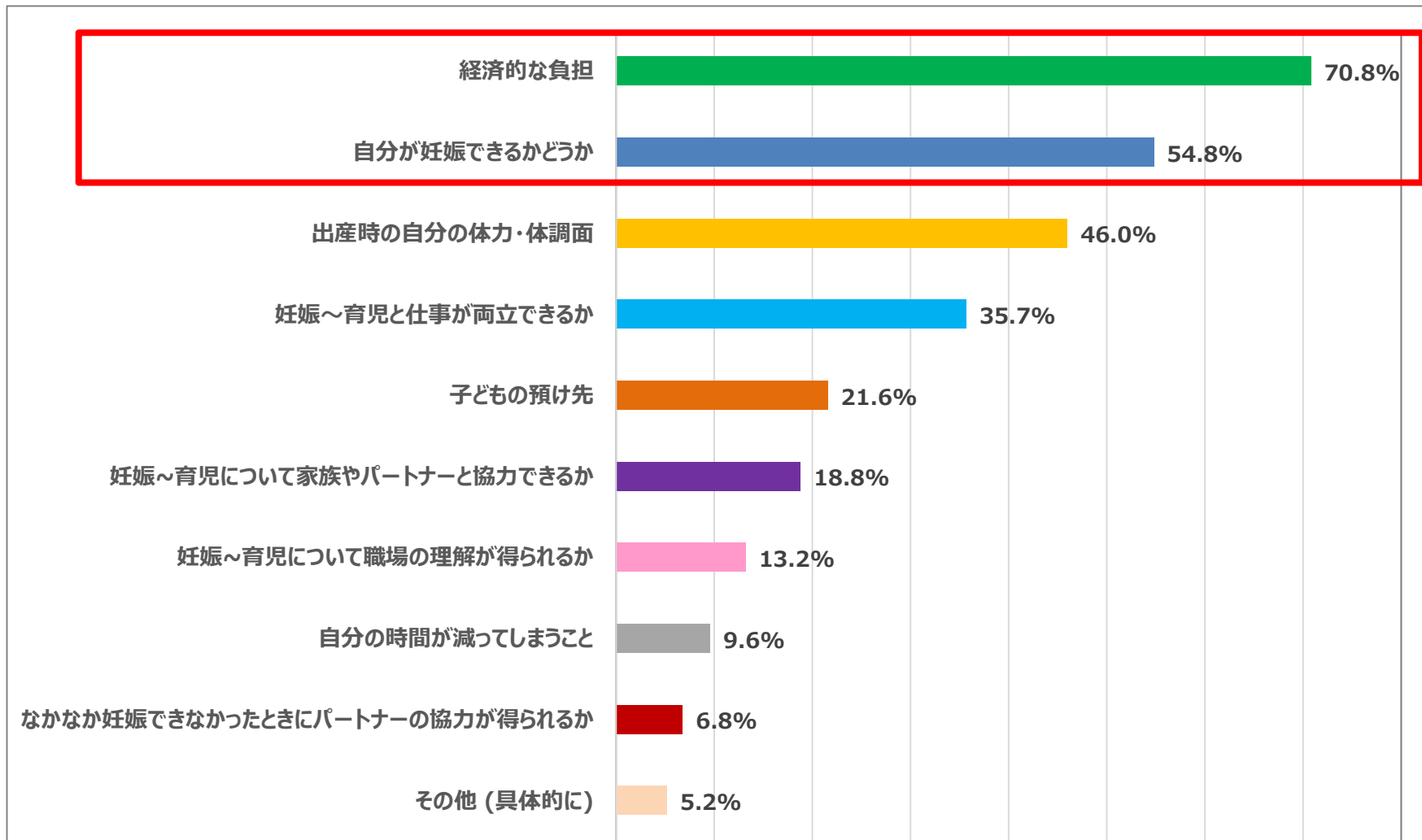


すでに子どもがいる場合でも、**77.9%**が「子どもを持つことに不安がある」

n=321

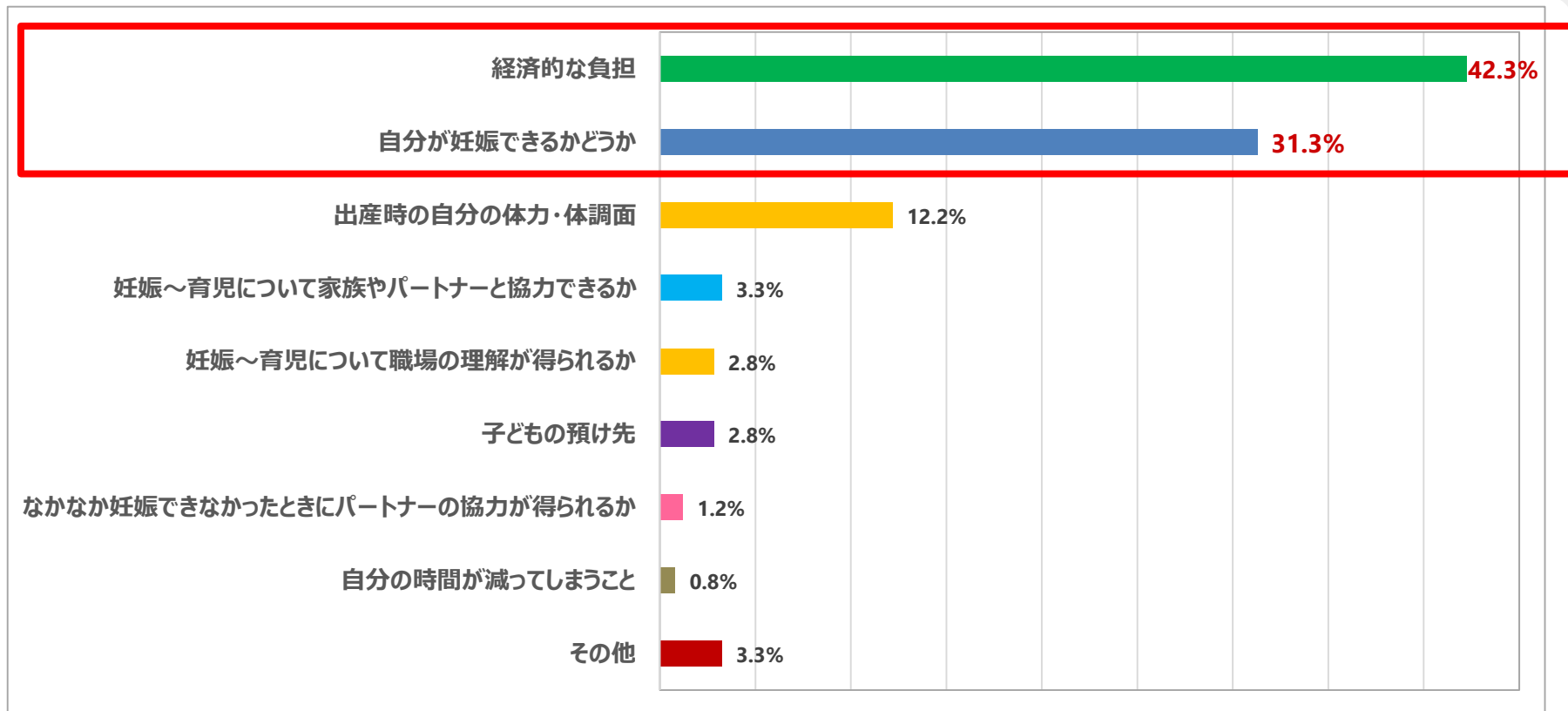
Q23:今後子どもを持つことを想定した際、不安なことは何ですか。（複数回答）

既婚・事実婚・未婚・離死別
(子ども有)



n=250

Q24:その中でも最も不安なことは何ですか



第2子以降を望んでいて、今後子どもを持つことに不安がある人の内、

n=246

不安の内容として最も多いのは「**経済的な負担(42.3%)**」、次いで**自分が妊娠できるかどうか(31.3%)**」

となり、経済的な支援の必要が重要であるとともに、妊娠・出産を経験している場合でも不妊への不安は

残っていることがわかる。